

第 29 回 観光戦略実行推進会議 議事要旨

1. 日時：平成 31 年 3 月 13 日（水）17：10－17：40

2. 場所：首相官邸 4 階大会議室

3. 出席者：

（政府側）

菅内閣官房長官、石井国土交通大臣、片山地方創生担当大臣、柴山文部科学大臣、吉川農林水産大臣、原田環境大臣、西村内閣官房副長官（衆）、野上内閣官房副長官（参）、杉田内閣官房副長官（事務）、和泉内閣総理大臣補佐官、古谷内閣官房副長官補（内政担当）、田端観光庁長官、濱野内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）、和田内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）兼観光庁次長、野村宮内庁長官官房審議官、村田文化庁次長、室本農林水産省農村振興局長、蒲生国土交通省鉄道局長、正田環境省自然環境局長、清野日本政府観光局理事長

（有識者・敬称略）

上山康博（一般社団法人日本ファームステイ協会代表理事・株式会社百戦錬磨代表取締役社長）、田代忍（株式会社和空代表取締役）、デービッド・アトキンソン（株式会社小西美術工藝社代表取締役社長）

4. 議事概要

○観光庁より 2020 年訪日外国人旅行者数 4,000 万人等の目標達成に向けた対策について（資料 1）、環境省より国民公園の公開状況等について（資料 2）、宮内庁より皇居東御苑等の公開状況等について（資料 3）、それぞれ資料に基づき、以下のとおり説明。

【田端観光庁長官】

- ・前回の推進会議において、早急に対処すべき課題として、多言語対応や無料 Wi-Fi など、外国人が真の意味で楽しめる仕様に変えるための環境整備を計画的・戦略的に進めることとした。
- ・このため、観光地、交通機関、文化財、国立公園、農泊の 5 つのテーマについて、工程表を作成するとともに、この工程表に従って、計画的・戦略的な環境整備をスピード感を持って進めていく。特に、鉄道等の交通機関については、国際観光振興法に基づき、各社に 5 月末を目途に重点線区における災害時対応を含む多言語対応等の実施計画を策定させ、各社の取り組みを促していく。後程各府省庁からもご発言をお願いします。
- ・プロモーションについては、JNTO による一元的な情報発信を進めていく。関係省庁、自治体、DMO を含めて、JNTO から一元的に情報発信が可能となるよう、体制を構築するとともに、デジタルマーケティングにより、効果的・効率的に情報発信していく。
- ・インバウンドの増加に伴い、全国各地で、城泊や寺泊をはじめ、地域の創意工夫により新たな観光コンテンツを開拓しようという試みが生まれている。こうした取組を国としても積極的に支援し、先行事例を作り上げ、横展開していくことが重要。今後とも、国のイニシアティブにより各種規制の円滑な運用等を促進していく。

【正田環境省自然環境局長】

- ・新宿御苑、皇居外苑、京都御苑については、戦前までは旧皇室苑地であったが、現在は国民公園として、多くの方に交流をいただいている。開園時間等について、新宿御苑では現在、通年で午後4時半までとなっているが、3/15から9/30までを午後6時まで、特に7/1から8/20については午後7時まで延ばす。尚、閉園日については、毎週月曜日と年末年始となっている。
- ・皇居外苑、京都御苑については、現在24時間オープンという形でご利用いただいている。
- ・開園時間の延長と併せて、夜間の利用や文化財の通年開館、環境整備、さらには入園料金の改定といった取組を進めていく。

【野村宮内庁長官官房審議官】

- ・皇居東御苑では、夏場は午後5時、冬期は午後4時を閉園時間としている。入園者数も増えており、公開時間を長くすべきとのご意見は宮内庁としても承知しており、皇宮警察とも具体的な閉園時間の後ろ倒し案について検討を進めている。
- ・皇居東御苑では5年前に比べ、入園者数が2倍程度の166万人に達しており、外国人比率も倍増していることから、増要因はいわゆるインバウンドによるものと考えている。
- ・こうした来園者の満足度の向上が非常に課題であると認識をしており、三の丸尚蔵館の整備の推進や、外国人来園者の方の利便性を向上させる音声ガイドアプリの充実、英語の説明表記の質の向上に取り組んでいく。

○上山氏より「城泊」「農泊」推進に向けた現状と課題について（資料4—1）、田代氏より「テラハク（寺泊）」で地域振興・観光振興・地方創生について（資料4—2）、それぞれ資料に基づきプレゼン。

○意見交換において、有識者より以下のご発言あり。

【デービッド・アトキンソン氏】

- ・鉄道の遅延時の多言語案内や無料Wi-Fi環境整備など、基礎的なことをしっかり進めて欲しい。地域は観光資源の整備に専念して貰い、情報発信はJNTOに一元化していくべき。農泊についても、ファームステイや農業体験など、しっかりとコンテンツを作り上げた上で情報発信すべき。しっかり地域で観光コンテンツ作りをやって貰わないと、6000万人や15兆円の目標達成は難しい。

○柴山文部科学大臣、原田環境大臣、吉川農林水産大臣、片山地方創生担当大臣、石井国土交通大臣よりご発言。主な内容は以下のとおり。

【柴山文部科学大臣】

- ・観光資源として文化財を磨き上げ、その魅力を発信することが重要と考えている。まず、文化財の多言語解説については、観光庁とも連携し、世界文化遺産18地域をはじめ、2020年までに100地域以上で抜本的改善を図って参る。加えて、JNTOと連携した文化財等の魅力の一元的な情報発信に

もししっかりと取り組んでいく。

- ・また、多言語対応の観点では、先月、東京国立博物館から「改革プラン」を公表したところ。プランでは、展示解説をわかりやすく刷新する、外国人向けガイドツアーを拡充するなど、13の柱を具体的に掲げ、早速、改革に着手している。
- ・さらに、先日旗揚げ式を行った「日本博」においても、日本文化を世界に向けて積極的に発信していく。

【原田環境大臣】

- ・国立公園の多言語対応については、2018年度の12公園から、2019年度は全国34の全ての国立公園に対象を拡大する。また、環境省ビジターセンターへの無料Wi-Fi整備は完了しており、今後新設する施設についても同様に整備を進めていく。
- ・このように国立公園におけるインバウンド対応を強化しながら、日本政府観光局と連携した新たなプロモーションを推進し、国立公園の保護と利用の好循環を図りながら、地域の活性化につなげていく。
- ・新宿御苑については、魅力向上策をさらに充実し、インバウンドを含む多くの来園者の皆様に一層楽しんでいただくよう、その価値を最大限引き出していく。
- ・また、皇居外苑についても昨年12月から桜田門や苑路等のライトアップを実施しており、多くの皆様にご覧いただいている。

【吉川農林水産大臣】

- ・農泊については、全国約350地域で取り組んでいただいているが、2019年度に約150地域を採択し、累計500地域への支援を実施する予定。
- ・インバウンド対応のため、2020年までにこの全国500箇所の農泊地域で多言語対応、無料Wi-Fi環境の整備を実施する。
- ・併せて、魅力的な観光コンテンツの開発や外国語対応可能な人材の確保、古民家等の施設整備も進め、農山漁村における外国人宿泊者数の増加を図っていく。

【片山地方創生担当大臣】

- ・発表があった「城泊」や「寺泊」の取組は、創意工夫によって地域の観光資源を活用した先進的な事例であり、中でも平戸城の城泊の取組は、来年度の地方創生推進交付金の申請をいただいている。
- ・農泊については、秋田県仙北市では国家戦略特区を活用し、地域の協議会が旅行商品を販売できるようになるなど、既に先進的な事例が始まっている。
- ・地方創生担当大臣として、旅行会社や海外のOTA等の民間事業者とも連携を密にしながら、地方創生推進交付金による支援等を通じて地域の創意工夫による先進的な取組を推進していく。

【石井国土交通大臣】

- ・国土交通省においては、各府省庁とも連携しながら観光地や交通機関等における受入環境整備を進めていく。

- ・具体的には、2021年までに、観光地では100の主要観光地について、交通機関では全国300線区について、多言語対応や無料Wi-Fiなど受入環境を抜本的に改善していく。
- ・また、2020年までに、文化庁や環境省とも連携し、100地域以上について、多言語解説を抜本的に改善していく。
- ・JNTOからの一元的な情報発信も含め、観光庁を中心として、各府省庁とより一段高い連携を構築しながら観光政策を進めていく所存なので、ご協力をお願いしたい。

○質疑応答の後、最後に菅内閣官房長官よりご発言。主な内容は以下のとおり。

【菅内閣官房長官】

- ・多数の外国人観光客を迎えるために「当たり前のこと」である外国語による表示やアナウンスや無料Wi-Fiについては、本日は期限と整備目標を明示した工程表を示した。各省庁においてこの工程表の中で更なる前倒し、整備対象の拡充ができないか不断の検討をお願いする。
- ・お城や寺に泊まる「城泊」「寺泊」の事例をご紹介いただいた。各省庁において、成功事例の横展開、障害となる規制の撤廃について、早急に取り組んでいただきたい。
- ・さらに、新宿御苑など、我が国の公的施設は、まさに外国人観光客にとって「キラークンテンツ」となれる魅力を有しているが、まだまだ活用しきれていない。各施設の閉園時間についてはまだまだ延長の余地がある。施設ごとに閉園時間がばらばらなのは利用者からみればわかりにくいことから、各省庁において早急に検討いただきたい。
- ・何より重要なことは、この会議で提起される課題は、各大臣、各省庁共通の課題ということである。縦割りに陥ることなく、観光庁を中心に積極的に協力して、良い取組が全国に広がるように、ご協力をお願いしたい。

○石井国土交通大臣より閉会

- ・本日の第29回会合はここで閉会とする。なお、本日の議事については要旨を公開することを予定している。

以 上